

事業の終了について

下記のとおり、事業が終了したので報告します。

主催制作事業

事業名	東区民文化センター舞台芸術促進事業 アートリップル事業 vol. 4 「世界へ向かって」
会場	広島市東区民文化センター
日時	2014年5月2日(金) 19:00、3日(土) 14:00 スタジオ2 2014年7月24日(木) 19:00 スタジオ2 2014年8月9日(土) 19:30、10日(日) 14:00 ホール 2014年9月10日(水) 19:30、11日(木) 14:00 スタジオ2
実施内容	<p>■2014年5月2日(金)、3日(土) このしたPosition!! / 【人間そっくり】 広島公演 京都のユニット、「このしたやみ」と、三重の劇団「Hi!Position!! (ハイポジション)」による、共同製作団体「このした Position!!」による、安部公房の文学作品のリーディング公演。 あえて都市圏での公演を目指すのではなく、良質な作品を地域で、そして舞台芸術拠点となっている場所で再演を行うというスタイルで、作品の深化、地域と地域の連携とその強化を目指しており、今回その再演地として広島公演が実現した。 他、広島公演後、石川県金沢市でも同公演を行い大好評を博した。</p> <p>■2014年7月24日(木) アートリップルシンポジウム 「～文化と原爆～現在(いま)の私たちにできる何か」 同年の8/9、ナガサキの日に、長崎の劇団「F' sCompany」の「マチクイの諷」公演に先駆け参加費無料行った公開シンポジウム。 作演出の福田氏をはじめ、広島で原爆、被爆体験に係る同世代のパネリストを招き、原爆や被爆が次第にリアルでなくなっている世代で確実に隔絶していく隙間に、なにができるかを考え、このシンポジウムを企画した。 運営側としても、多くの課題を課せられる企画であったが、あえて演劇と一線を隔したシンポジウムを行うことで、演劇の可能性を再見する機会となった。</p> <p>■2014年8月9日(土)、10日(日) F' s Company / 【マチクイの諷】 広島公演 長崎を拠点に活動する劇団、F' s Companyによるオリジナル演劇作品。 この作品は代表であり、作演出の福田氏が祖母から聞いた話を元にし、被爆三世の目から見た長崎の原爆、その苦しみや悩み、それらを抱えた当事者や周りの人々を寓話にして描いた作品として非常に注目を集めた。 福田氏のたつての願いで、今年度広島公演が実現した。 新聞等でも大きく取り上げられ、反響も大きく、また改めて劇団という支柱の強さを感じさせられる公演となった。 他、広島公演後、三重県津市でも同公演を行った。</p> <p>■2014年9月10日(水)、11日(木) みやざき◎まあるい劇場 / 【青空カラー】 広島公演 宮崎を拠点に活動する「こぶく劇場」の代表であり劇作家、演出家の永山氏が、2001年から地元の障害を持った人たちとの芸術作品創りの可能性を探りながら活動をおこなう「まあるい◎劇場」による、オリジナル演劇作品。 2007年2月には、明治安田生命社会貢献プログラム「エイブルアート・オンステージ」参加事業として抜擢、東京をはじめ各地で公演を行う。 広島公演のほかに、近年国際的に注目を集めている「鳥の演劇祭」(鳥取県鳥の劇場)に、2年連続で招聘参加している。 この公演もまた、たくさんの反響を頂き、新たな事への挑戦の一つとなった。 平日の昼公演を行ったのは初めてだったが、普段土日や夜の公演にはお越し頂けないお客様に観て頂く機会ともなり、また新たな発見をした。 他、広島公演後、鳥取県鹿野町の「鳥の演劇祭7」でも同公演を行った。</p>

事業名	変劇団 vol.3 挙手公演「爪。」
日時	2015年2月21日（土）～22日（日） 計3回公演
会場	山小屋シアター
実施内容	<p>広島を拠点に活動する劇団、変劇団の3回目となる本公演。 高校時代の演劇部から立ち上がり、C.T.T.で旗揚げして以来、意欲的に活動を続ける。</p> <p>今回は、初めて「劇場」という場での本公演となった。 仕込みからバラシに至るまで、基本的な演劇公演の作り方を学びながら、「学生劇団」から一步踏み出したように思う。</p> <p>主宰である山田めいは、劇作家協会にも入会し、本格的に戯曲のスキルをあげる訓練を重ねている。</p>

事業名	黄金山アタック第12回公演「逆しら」
日時	2015年3月5日（木）～8日（日） 計5回公演
会場	東区民文化センター スタジオ2
実施内容	<p>広島を拠点に活動する劇団、黄金山アタックの5年ぶりとなる本公演。 劇団員の総入替、事実上の活動を休止していた5年の結果を発揮すべく臨んだ公演。 客演に京都の烏丸ストロークロックより柳沼昭徳氏を迎え、蜜で妥協のない稽古を経た、劇団ならではの公演となった。</p> <p>また、舞台美術に青年団の杉山至氏、照明には古くから黄金山アタックの照明を手掛け、現在、静岡のSPACの照明に所属する小早川洋也氏を招いた。</p> <p>2015年7月に三重県津市のあけぼの座で、同公演を行う</p>

共催制作事業

事業名	JENAGURU Jr (ジャナグル Jr) コンサートツアー2014 広島公演
日時	2014年6月7日(土) 19:00
会場	東区民文化センター スタジオ2
実施内容	<p>ジンバブエは音楽が流れだすと老若男女、赤ちゃんまで立ち上がって踊り、音楽がなければ一日が始まらないほど音楽が盛んな国。</p> <p>しかし、イギリスから独立以後も、白人系のレコード会社の一社独占状態が続いていた。そんな事態を打破しようとクライブ・マルソガ、ジンバブエ在住の日本人、高橋朋子さんがジャナグル・アートセンターを設立。そこでジンバブエの伝統、現代音楽やダンスを本格的に学んだ子どもたちのグループが「ジャナグルジュニア」。</p> <p>彼らのその抜けの明るさ、天性のリズム感から繰り出されるパフォーマンスは、一流のミュージシャン顔負けのパワーで観客を楽しませた。</p>

制作協力事業

事業名	台湾広島×超肉體進撃大作戦
日時	2014年7月22日(火) 20:00 広島パフォーマンス 2014年10月15日(水)～19日(日) 台湾パフォーマンス
会場	おきらく家(広島) 台日交流Cafe Bar Kiseki、梵谷星空 Caffè Jaguer、空場/Polymer(台湾)
実施内容	<p>美音異星人を中心とした、広島のパフォーマンス集団が試みた初の海外公演の制作協力を行った。</p> <p>また、同事業は海外ということもあり、無色透明新人スタッフの山田めい、佐々木あやが、初めて自分たちだけで現場制作を行った事業でもある。</p> <p>彼女たちにとってもよい経験になり、またわたし自身も海外のオーガナイザーとのやり取りのむずかしさ、面白さを体験した企画であった。</p>